令和6年5月度 教育委員会要旨録

1 開催日 令和6年5月24日（金） 午後1時30分～

2 場 所 多可町役場 特別会議室

3 出席者 教育長 越川 昌信
委員 安藤 和志
委員 岩田 光代
委員 木俣美代子

4 陪席者 教育担当理事兼教育総務課長 金高 竜幸
学校教育課長 恋田 祐爾
少子化対策担当理事兼こども未来課長 藤本 圭介
生涯学習課副課長 中里 尚子
学校教育課副課長 芝 和征
教育総務課課長補佐 吉井 美和
教育総務課主査 野田 友美

5 議 案

議案第8号 多可町図書館協議会委員の委嘱について

議案第9号 多可町文化財保護審議会委員の委嘱について

議案第10号 令和6年度「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の委嘱について

議案第11号 多可町社会教育委員の委嘱について

議案第12号 多可町教育委員会公式インスタグラム運用要綱の制定について

議案第13号 多可町中学生のスポーツ・文化活動地域展開支援組織設置要綱の制定について

議案第14号 多可町中学生のスポーツ・文化活動地域展開推進計画の策定について

承認第5号 多可町教育委員会後援名義申請の承認について（令和6年4月分）

6 報告事項

(1)各種委員会の報告

(2)教育委員会事務局の報告

【教育総務課】

- ①就学援助事業について
- ②多可町小学校等入学あったか祝金について
- ③6月行事予定について
- ④4月定例教育委員会要旨録について

【学校教育課】

- ①6月行事予定について

【こども未来課】

- ①多可町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ②子育てふれあいセンター愛称募集の進捗状況
- ③6月行事予定について

【生涯学習課】

- ①6月行事予定について
- ②多可学園・生涯学習講座申込状況について
- ③生涯学習まちづくりプラザ建設の進捗状況について

(3)次回教育委員会と総合教育会議の協議題について

(案) 令和6年6月26日(水) 午後1時00分～

※定例教育委員会終了後、総合教育会議を開催します。

(4)その他

閉 会

【開 会】

教育長あいさつ

日程第1 会議録署名委員の指名

安藤委員と岩田委員を指名

日程第2 教育長の報告

私から、6点ご報告をいたします。

(1) 感染症による学級閉鎖等の状況について

5月10日、町内こども園5歳児クラスで21人中12人が欠席しました。症状は下痢嘔吐が見られ、ノロウイルスに感染した子もいたとの報告を受けています。直ちに保健所にも報告し、自由登園の措置を執っています。

5月16日には、中町北小学校4年生で複数名のコロナ感染がわかり、翌17日から2日間学年閉鎖しました。また同じ16日、八千代小学校2年生で22名中5名が欠席し2名が早退しました。嘔吐の症状が見られ感染性胃腸炎が疑われましたので、こちらも翌17日から2日間学年閉鎖をしております。幸い2校とも月曜日には感染が広がらなかったため登校を再開しました。

翌週21日には修学旅行で体調不良を訴えた八千代中学校3年1組の複数名がコロナに感染していることがわかり、翌日から3日間学級閉鎖をしております。情報を共有する中で感染拡大に今後とも気をつけてまいりたいと思います。

(2) 教職員への悉皆研修について

5月1日、中町北小学校にて小中学校の全教職員を対象とした学力向上のための研修を行いました。これは今、多可町で進めている「授業づくり10のポイント」に基づく授業の進め方を共通理解するために行いました。学力向上推進アドバイザー

の阿部先生の解説のあと、松井小学校の教頭先生が教師役となり、若手教員を中心とした児童役の方々への算数の模擬授業を見せてくださいました。研修会の後のアンケートによりますと、多可町スタンダードに基づく授業づくりについてよく理解できた教職員が6割を占めるとともに、研修の持ち方についても約半数が非常によかったと捉え、有意義な研修会となりました。この度の研修を多可町の子どもたちの学力向上に繋げてまいりたいと考えています。

(3) 春の学校園訪問について

今年度の春の学校園訪問では、5月7日、八千代中学校を皮切りに、中町中学校、八千代小学校、杉原谷小学校、松井小学校を訪問しました。訪問では、学校の施設の修繕箇所等の確認、諸帳簿が適切に処理できているかの確認、教育活動の参観などを行いました。いずれの学校でも学校長から経営方針について説明を受けた後、子どもたちへの教育活動を参観した感想や指導助言を行いました。直接現場に出向き、学校施設や教育の様子を拝見して、現場の先生方からお話を聞くことで学校園の保育教育の充実に繋げてまいりたいと考えております。また、教育委員さん方につきましても時間の都合がございましたらご同行いただければ幸いです。

(4) ファミリーフェスタについて

5月第3日曜日の「家庭の日」に合わせて、5月19日、子育てふれあいセンター主催による第2回ファミリーフェスタを中央公園と子育てふれあいセンターで開催しました。オープニングを飾って八千代区で活動する若いお父さん方によるバンド演奏がありました。会場内ではいずみ会の皆様、主任児童委員の皆様、中高大学生ボランティアの方々等40名の方々のご協力による楽しい模擬店等が開かれ、親子連れなど昨年より多い212名の参加者があり、楽しいひとときを過ごしていただきました。後ほど担当課長からも報告いたしますが、その模様は教育委員会のホームページにある教育トピックスに写真と共に掲載しておりますのでご覧ください。また、6月8日には19回目の開催となります図書館まつりも多可町図書館周辺で開催します。お時間がありましたら是非ご来場いただければ幸いです。

(5) 学校長への目標管理ヒアリングについて

教職員人事評価・育成システムに基づく学校長への第1回目の目標管理ヒアリングを来週28日から杉原谷小学校を皮切りに実施してまいります。各学校長から昨年度の取り組みの成果と課題や組織目標を聞き、学校経営や教職員の育成、学習指導の充実などについて目標を達成するための手立てを聞く予定です。私からは、具体的な数値目標などを確認しながら、目標の明確化と、昨年度の取組を振り返った目

標に対する成果と課題、そして課題を解決するための具体的な手立てと成果指標を明らかにすることの大切さを助言してまいります。これを踏まえ、学校長は所属校で6月にかけて教職員と面談を行います。この後、学校長とは10月から11月にかけて第2回目の中間面談、2月から3月にかけて第3回目の目標達成状況を確認する面談を行い目標達成と組織の活性化を図ってまいります。

(6) 多可子どもタイムズの発行について

多可子どもタイムズは年間2回発行し、教育委員会の取組を広く町民の皆さまにお伝えしています。今年は、6月1日付けで、広報たかと共に区長様を通して、町内全戸配布する予定です。内容は、今年度の教育重点施策や教育方針とともに、令和7年春オープン予定の生涯学習まちづくりプラザ（あすみる）の概要や令和8年4月開校予定の多可中学校の概要、今進めている中学生のスポーツ・文化活動の地域展開の計画とアンケートの結果、さらには子育てふれあいセンターの改修などが主な内容となっています。できるだけ写真や図を多くして見やすい紙面構成としております。

以上、6点ご報告いたします。感染症を避ける新しい生活様式をとりつつ、暑さによる熱中症のリスクも高くなることから子どもたちの健康の維持管理により一層努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

ただいまの報告につきまして質疑等ございますでしょうか。ないようでしたら、日程第3 議案第8号 多可町図書館協議会委員の委嘱についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

日程第3 議案

議案第8号 多可町図書館協議会委員の委嘱について

事務局（教育担当理事兼教育総務課長）：議案第8号 多可町図書館協議会委員の委嘱につきまして、多可町図書館条例第5条および第6条の規定により、多可町図書館協議会委員に次のものを委嘱したいので、委員会の議決を求めるものでございます。委嘱期間は令和6年4月から令和8年3月31日までの2年間で、委嘱する方は11名です。

選出区分、所属および役職名につきましては、それぞれ記載のとおりでございます。ご審議賜りますようよろしくお願い申し上げます。

教育長：ただいまの事務局の説明につきまして、何か質疑等ございますか。

質疑がないようですので、採決に入りたいと思います。議案第8号 多可町図書館協議会委員の委嘱については、承認することでご異議ございませんか。

委員：はい。

教育長：ありがとうございます。それでは、議案第8号 多可町図書館協議会委員の委嘱については異議がないものと認め、提案とおり可決いたします。

続きまして、議案第9号 多可町文化財保護審議会委員の委嘱についてを議題とします。事務局の説明を求めます。

議案第9号 多可町文化財保護審議会委員の委嘱について

事務局（教育担当理事兼教育総務課長）：議案第9号 多可町文化財保護審議会委員の委嘱につきまして、多可町文化財保護条例第19条の規定により、多可町文化財保護審議会委員に次の者を委嘱したいので、委員会の議決を求めるものでございます。

委嘱期間は令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間で、委嘱する方は5名となります。

選出区分につきましてはそれぞれ記載のとおりでございます。ご審議賜りますようお願いいたします。

教育長：ただいまの事務局の説明につきまして、質疑等ございませんか。

私から1つだけ質問ですが、令和5年度まで委員を務めていただいていた方の再任ということによろしいですか。

事務局（教育担当理事兼教育総務課長）：はい。今回は皆さん再任という形です。

教育長：実績があり、今まで関わっていただいた方、いずれも再任の方ということですが。ほかに質問等ないようでしたら、承認するというところで異議ございませんでしょうか。

委員：はい。

教育長：ありがとうございます。それでは、議案第9号 多可町文化財保護審議会委員の委嘱については承認することにいたします。

続きまして、議案第10号 令和6年度「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の委嘱についてを審議いたします。事務局から説明をお願いします。

議案第10号 令和6年度「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の委嘱について

事務局（学校教育課長）：多可町「トライやる・ウィーク」推進協議会委員につきまして、「トライやる・ウィーク」推進協議会設置規定第3条および第7条の規定により、令和6年度「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の方に、次の方を委嘱したいと思っております。議決をよろしくお願いします。

委嘱期間としましては、令和6年4月1日から1年間、令和7年3月31日までとなります。

委嘱するのは10名の方で、3中学校のPTAの代表の方がそれぞれ1名ずつ、それから3中学校の校長先生に入っていただくということで、審議の方よろしくお願いいたします。

教育長：ただいまの説明につきまして、質疑等ございませんか。

委員：はい。

教育長：それでは質疑等がないようですので採決に入りたいと思います。議案第10号 令和6年度「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の委嘱については、承認することでご異議ございませんか。

委員：はい。

教育長：ありがとうございます。それでは、議案第10号 令和6年度「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の委嘱については異議がないものと認め、提案どおり可決いたします。

続きまして、議案第11号 多可町社会教育委員の委嘱についてを議題とします。事務局の説明を求めます。

議案第11号 多可町社会教育委員の委嘱について

事務局（少子化対策担当理事兼こども未来課長）：議案第11号 社会教育委員の委嘱につきまして、多可町社会教育委員の設置に関する条例第2条の規定により、多可町社会教育委員の委嘱について議決を求めるものでございます。

多可町社会教育委員につきましては、昨年度令和5年度が2年任期のスタートとして、昨年定例教育委員会で委嘱の議決をいただきまして、委員会を開催してまいりました。

令和6年度の実施に当たりまして、子連協、PTA、区長会、シニアクラブ連合会の選出の委員に改選がありましたので、当該4人の新規委員の候補者の委嘱の議決を求めるものでございます。

委嘱の期間につきましては、前任者の残任期間となります6年4月1日から令和7年3月31日までとなっております。なお、それ以外の委員の方につきま

しては昨年度委嘱をさせていただいておりました、議決をもらっているところ
でございます。説明は以上です。

教育長：ただ今の事務局の説明につきまして、質疑等ございませんか。質疑等ない
ようですので採決に入りたいと思います。議案第11号 多可町社会教育委員の
委嘱については承認することでご異議ございませんか。

委員：はい。

教育長：ありがとうございます。それでは、議案第11号 多可町社会教育委員の委
嘱については、異議がないものと認め提案どおり可決いたします。

続きまして、議案第12号 多可町教育委員会公式インスタグラム運用要綱の
制定についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

議案第12号 多可町教育委員会公式インスタグラム運用要綱の制定について

事務局（教育担当理事兼教育総務課長）：議案第12号 多可町教育委員会公式イン
スタグラム運用要綱の制定につきまして、このたび委員会の承認を求めるもので
ございます。制定理由としまして、多可町図書館のアカウントを作成し、多可町図
書館の新书推荐や令和7年4月開館の新図書館に向け、今後さらに情報発信を行
っていくというものでございます。

このたびの要綱制定につきましては、既に運用しております多可町公式イン
スタグラム運用要綱の内容と同じであることから、多可町の運用要綱を準用する
ものでございます。ご審議賜りますようよろしくお願いいたします。

教育長：それでは、ただいまの事務局の説明につきましてご質疑等ございませんか。

町のインスタグラム運用要綱の中に別表がありまして、管理担当課が書いて
り、その横にアカウント名と編集責任者があるのですが、ここに追記されるよう
な形になるのか、それとも別に定める形になるのか、それはどうなりますか。

事務局（教育担当理事兼教育総務課長）：この度は、この別表ではなくて、置き換
えるという形です。文面の中で置き換えるという形になります。

委員：この表には入らずに、教育委員会で別にまた作るということですか。

事務局（教育担当理事兼教育総務課長）：はい、そうです。多可町は多可町独自でこ
のままで、別途、多可町教育委員会の公式インスタグラムの要綱を制定するとい
う別立てになります。

教育長：よろしいでしょうか。そういうことで、発信力を強化するためにインスタグラムでも発信していくということで、この度それに伴って、この運用要綱を作るということです。よろしいでしょうか。ほかに質疑等ありませんか。

委員：はい。

教育長：ないようですので採決に入りたいと思います。議案第12号 多可町教育委員会公式インスタグラム運用要綱の制定については、承認することでご異議ございませんか。

教育長：ありがとうございます。それでは、議案第12号 多可町教育委員会公式インスタグラム運用要綱の制定については、異議がないがないものと認め、提案どおり可決いたします。

続きまして、議案第13号 多可町中学生のスポーツ・文化活動地域展開支援組織設置要綱の制定についてを議題とします。事務局の説明を求めます。

議案第13号 多可町中学生のスポーツ・文化活動地域展開支援組織設置要綱の制定について

事務局（学校教育課長）：多可町中学生のスポーツ文化活動地域展開支援組織設置要綱につきまして、承認を求めるものでございます。

まず、中学生が円滑に地域のスポーツや文化活動に参加できるよう支援することを目的に、第1条で「スポ・カルたか」を設置します。

第2条では、定義としましてそれぞれの用語の意義を以下に定めています。地域クラブ、コーディネーター、それから事務職員です。

それから第3条につきましては、大まかな事務としてどのようなものがあるのか、「スポ・カルたか」につきまして3つ挙げております。1つ目が地域クラブの発掘および中学生と地域クラブとの活動調整に関する事、2つ目が、地域クラブの活動状況の把握、費用の調整に関する事。3つ目が、そこに挙げているもののほか、中学生のスポーツ・文化活動の地域展開に必要な事項に関する事を挙げています。

次に第4条では、組織としまして「スポ・カルたか」を構成する者を挙げています。1つ目がコーディネーター、2つ目が事務職員、さらに3つ目がその他教育長が必要と認めた者、という組織です。

第5条には、コーディネーターの具体的な職務について挙げております。1から4まであり、さらに教育長が必要と認める事項についてです。

そして第6条でこの要綱に定めるもののほか必要な事項は教育長が別に定めるということで、設置要綱を挙げております。承認をよろしくお願いいたします。

教育長：ただいまの事務局の説明につきまして、質疑等ございませんでしょうか。
委員さんどうぞ。

委員：まず、コーディネーターの方に、動きというか、位置はどういう形になるのでしょうか。全体を見たときにいろいろな課題が出てくると思いますが、コーディネーターの方がかなり把握されて、地域の方々や指導される方々に明確にできるという位置で、そういう動きをしていただけるのでしょうか。

教育長：学校教育課長をお願いします。

事務局（学校教育課長）：まずコーディネーターの方に、いろいろなスポーツや文化活動、それぞれの団体の活動の様子などを見ていただきながら、中学生の地域クラブとして受け入れていただけるのか、あるいは適切であるのかどうかについて、直接話を聞いていただくということを、進めて行きたいと思っています。その上で、課題や改善するようなところがございましたら、事務局としていろいろな課題については解決していく方向で、指導あるいは助言していくということになるのではないかと考えています。

教育長：後ほど説明する推進計画の中にもあるのですが、去年からスポーツ文化活動の地域展開を検討する会議というのを立ち上げて、もう6回ぐらい話し合っております。そこではこれを進めるにあたって出てきた課題を、地域のスポーツ文化団体の代表の方や学校の代表の方、保護者の代表の方、それから学識経験者である兵教大の森田先生、そういう方々で協議をして、合意を形成しながら課題を解決していくこととしております。コーディネーターの方が課題を解決するのではなくて、例えばいろいろな団体の方から声を聞いたり保護者からアンケートを取って集約をしたりして、出てきた課題への対応策を提案していただいて、会議の場で皆さんで検討して決定していただくという形になります。

ですから、課題の掘り起こしや解決に向けて会議に提案していただくのがコーディネーターの方の役割になると思います。

「スポ・カルたか」という団体は一体どんなものなのか、どこにも規定しておりませんので、それをまず規定する必要があるということで、この要綱を作らせていただいた次第です。よろしいでしょうか。

委員：指導者によって野球やソフト、バレーやバスケットなど、いろいろな活動のベースがあると思います。多可町だったら乗馬もあったりしてね。いろんな活動をする場所がありますが、そういった方々にお願いをするときに、規定をはっきり明示しないと、ことが進みかけてから、「これどうするんだ」、「こんな問題が

新たに出てきた」ということでは、やはり後追い後追いになってしまって、みんなが迷ってしまうということになりかねません。早く課題を明確にしてもらって、指導して下さる方々にはっきりと了解を得る、確認するということをしていく必要があるのではないかと思います。私達はまずお金のこと、それから子どもたちの安全がひとつ大きな心配で、また友達同士のトラブルや不登校に繋がるような問題が出てきたときに、教育委員会として、またコーディネーターのチームの皆さんとして、どういう受けとめ方をして、子どもたちや保護者をサポートしていけるのかという、深いところまでを議論しながらスタートを切らないといけないと思います。スタート自体はいいことだと思うのですが、するまでにかなり時間をかけながら、あらかじめ予測できることはしっかり議論し合っただけでスタートしないと、理解が非常に困惑してしまうことになると思います。再度、多くの方々にもその辺りのところが見えるようお願いしたいなと思います。

教育長：ありがとうございます。そういった不安がなくなっていくように一つ一つはっきりと物事を進めていくという意味で、この度、この地域展開の支援組織というのはどういう組織なのかということ言葉を規定して要綱として定める、ということで、このたび提案した次第です。ありがとうございます。

それでは、議案第13号 多可町中学生のスポーツ文化活動地域展開支援組織設置要綱については策定するという事で異議がございませんか。よろしいですか。

委員：はい。

教育長：それでは、議案第13号 多可町中学生のスポーツ文化活動地域展開支援組織設置要綱については承認するという事で異議がないものと認め、提案どおり可決いたします。

続きまして、議案第14号 多可町中学生のスポーツ・文化活動地域展開推進計画の策定についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

議案第14号 多可町中学生のスポーツ・文化活動地域展開推進計画の策定について

事務局（学校教育課副課長）：多可町中学生のスポーツ・文化活動地域展開推進計画の策定につきまして、承認を求めるものでございます。この推進計画につきましては、（案）ということでこれからまだまだ議論をしていかなければいけないと思っています。資料の中身を見ていただきながら説明をさせていただきたいと思っています。はじめに、ということで多可町の現状についてまとめさせていただきました。また、国、県の方向性を踏まえて、今回、推進計画を策定するという事

でまとめております。

その中で、大きく文科省が出している言葉ではありますが、スポーツ庁・文化庁が学校部活動をどのように考えているかということで、「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」と位置づけられておりますので、今回地域クラブということで多可町では今、令和8年6月のクラブ活動、部活動の廃止、そして完全に地域クラブへ移行、ということで進めております。

基本目標と期待される効果ということで、基本目標で、「中学生を含めた全ての町民が生涯、地域で多様なスポーツや文化芸術に親しみ、世代を超えて絆を深め豊かな人生を送る」という目標を挙げておりますが、ここでは、「中学生が」というところがもう少し強く出てくる方が良いと思っています。ですので、中学生はこれまでは部活動という枠の中で活動していましたが、このたびの地域移行により、中学生から生涯にわたって、また地域の人とスポーツや文化で交流しながら、多様な世代の方と繋がりを持ち続ける、深めていく、そして生涯にわたって豊かな人生を送っていくということを目指しております。

地域展開で期待される効果としましては、3つ挙げております。まず中学生ですが、だんだん人数が減りまして、少人数になる中で自分が選択したスポーツ・文化活動に触れ合うことができなかつたところを、自分が選んでいく、選択していく主体的な活動に変えていきたい。それから地域としましては、多可町のいろいろな方と交流したり、一緒にスポーツや文化活動に行ったりすることで、世代を超えた交流、繋がりが生まれていくのではないかなと考えております。それから学校としましては、学校の先生方がスポーツの指導に関わらないということで、授業や放課後の子どもとの時間を作ることで、生徒と向き合う時間が増えるのではないかと思います。その中でさらに子どもたちにとっては分かりやすい授業であったり、学力の向上、あるいは生活上の悩み事をもっと先生と相談できる時間が生まれてくるのではないかと考えています。

それから、今後の検討課題とスケジュールですが、やはり新しいことへの試みでもありますので、いろいろなニーズの把握から始まり、人材発掘、そしてそれぞれの立場によつての、負担の大きさや関わり方などについてを検討課題として、ロードマップにありますように、一年一年いろいろな課題を協議しながら解決していくということをイメージしております。

そして資料の14ページに、現在の中学1年生が3年生になるときに統合中学校がスタートしまして、今の1年生の子たちが3年生の6月には学校が行う部活動が終了しますので、そのときに、2年生は6月で部活が終わってしまうところを考えると、やはりこの方向性を策定して進めていかなければいけない時期に来ていると思っています。

この検討課題につきまして検討会議をする委員の方々の名簿をつけておりません。

昨年度は1年間で6回会議を持っております。やはり課題は多くあると思

ますので、令和6年度につきましても複数回の会議をもって方向性を確認していく必要があると思っています。

今回このように推進計画（案）として出させていただいて、委員の皆様のご意見をお聞きしながら、また随時修正加筆しながらこの計画を進めていきたいと思っておりますが、取り急ぎ、この推進計画で一定の方向性を共有して進めていきたいと思っております。承認につきましてよろしく願いいたします。

教育長：ただいまの事務局の説明につきましてご質疑等ございませんでしょうか。

委員：方向性はこれでいいと思います。文科省は働き方改革、スポーツ庁の場合はアスリートを育てるといふ、そういう目標でスタートしたと思うのですが、現場先生方の働き方改革の方向から見ても、かなり部活動の負担が大きいということは分かりますし、その辺のところ、多可町は各場所にわかれて、現場の先生方の意見をしっかりお聞きしたいというようなことがありました。今までは皆さん方もよくご存知のように、日本のスポーツ、教育、中学校の部活動、これは他国にない魅力があって、日本人のプロの選手を見てもらってもやっぱりマナーが非常にいいし、スポーツ選手としての考え方がまた違うし、日本のやり方は非常に良いということで、学校の部活動が押し上げてきたところを各国が評価しているというようなところなんです。そのところが働き方改革とか、少子高齢化から子どもたちが少なくなっているということも含めて、いろいろな角度から、なかなか従来どおりにはいかないというような方向になっているので、形を変えていくのはそれでいいのだろうと思うんです。でも変えていくからにはやはり日本の良さ、部活動が作ってきた良さを継続するというをしないといけないと思います。特に子どもたちを理解する場所ということで、部活動が非常に大きく作用してきたと思うんです。例えば、授業の時間にも放課後の時間にも、子どもたちとの話をする機会が非常に増えてきて、1人ひとりの子どもたちと悩みとか話ができる時間が増えてきたということなんです。部活動のときにも、子どもたちと話をする時間があったんです。言葉だけでなく、動作を伝えて動作を通して話ができていたんです。それがなくなって、子どもの悩みが解決できるかどうかということ、子どもたちに接する時間が増えたと言われるけど中身はどうなるんだということ、私は非常に心配するわけです。方向性は非常にいいと思います。ただ、中身がそれに付いていけるかどうかということなんです。分かりやすく言うと、部活動も地域に移行したので、放課後の時間がたくさんできたからといって、子どもたちの問題とか、悩みを聞くということが深くできるかどうかということなんです。部活の場合は言葉でなくて、子どもたちの動きや活動を見ていたら、悩みが分かるし、そういったことも踏まえての生徒指導、生活指導をしていたと思うので、その辺のところを抜け落ちがないように入念に打ち合わせをしていただきたい、そしてこの方向に進めてもらいたいと思います。

書いてある文章は、本当に文科省から降りてくる、県を通しての非常に漏れない方向性だと思うのですが、実際のところ、いろいろと問題点も出てくると思うのですが、そこをまた検討会議等で議論していただけたらいいと思います。現場の方、地域の指導者の方々とのディスカッション、これをもっともっと深めていく中で、子どもたちを守っていくというようなことになると思うので、よろしく願いいたします。

教育長：ありがとうございます。貴重なご意見ありがとうございます。それではほかの委員さん、ご覧になって何か質疑でも結構ですし、ご意見でも結構ですのでございましたらお願いします。

委員：早い段階から地域移行の話が出てきて、このシステム作りの説明をずっと聞いていて、どちらかというと、その仕組み作りの方がメインで、そこに中学生に行ってもらおうというような、何か子どもが後回しのような印象があったのですが、さっき学校教育課長さんの話で、「中学生が」という面を強く出していけたらと思っていますと言われていたのと、この資料は本当に中学生の部活のという話が詳しく書いてあったので、以前よりは子どもたち寄りの資料だなと思って見せていただきました。

教育長：ありがとうございます。ほか、委員さん何かございましたらお願いいたします。

委員：まだまだ私は理解ができない部分の方が多いと思いながら、先ほども話を聞いておりました。この資料を見せていただいて、教師の質の向上というあたりなんですが、子どもと離れてしまった時間、例えば授業が終わった後の4時から5、6時というその時間ぐらいが離れる時間かと思いますが、今までだったらその時間にも子どもとの関わりの中でいろいろな悩み、その子の顔色、その子の今日の表情などを見た上で、部活の先生等は関わっていらしたのが、離れてしまって放課後のスポーツに関わらない中で、どのように子どもたちの表情、悩みや話し合いの機会を作っていられるのかなと思います。子ども中心の部活動なのにというあたりが、まだまだ私には理解できなかったりもします。それから2年生の6月に部活動が終わるということで、大会の後で終わるのかなと思うのですが、そうしたら2年生と入ったばかりの1年生は、その時点ではまだ部活動するぞという気持ちで入っているのだけど、もう終わりで中学校生活最終まで行けないということになります。どこかでは切らないといけないのですが。要は、子どもたちにとって、中学生になったら部活も勉強も頑張りますという意気込み的なところが、ずっと消えてしまっているのかなと心配します。そのあたりがどう進んでいくのかというあたりも見えなかったりするのですが。

それともう1つ、コーディネーターという話にも出ておりましたが、コーディネーターの方の職務の内容はたくさん書いてあるのですが、何人ほどの配置が行われるのか、各部ごとにコーディネーターを置かれるのか。保護者と学校と子どもたちの話し合いの場を持ったり、課題を打ち上げてきたり、そういうコーディネーターの働きなのかなと思ったりもしています。やはりしっかりと子どもの姿を受け止めるのであれば、このコーディネーターの仕事もしっかりとしていただきたいという思いもあります。以上です。

教育長：今、2つぐらい質問があったと思います。まず部活動を1年生が入学して6月までは部活動をやるのではないか、その後、地域展開になった場合は尻切レトノボみたいにならないか、その子たちの部活に対する思いなどはどうなるのかなという疑問が1つ出てきておりました。

もう1つは、コーディネーターの方について、何人ほどでどういう働きがあるのかももう少し説明をしていただけたらということではなかったかと思えます。課長、また副課長でも結構ですが、学校教育課でお答えがありましたらお願いします。

事務局（学校教育課長）：委員さんの思い、十分受け止めたいと思っていますので、またよろしくをお願いします。

それでは、先ほどの質問につきまして、中学校の部活動としては令和8年の6月に一旦部活動が終わるのですが、6月で終わるときには、例えば既にサッカー部に入っている方は引き続きサッカーができるような地域クラブを、そのメンバーそのまま地域クラブとして続けられるような体制を、特にコーディネーターの方にお世話になりながら作っていきたいと思っています。ですので、令和8年6月に部活をやってきた中学1年生の6月で終わる子とか、2年生の6月で終わってしまう子たちにとって、そこでポツンと終わらないように地域移行をスムーズに繋げていく必要があるとは思っています。特に最後の年に中学生の子たちは自分たちの代になったときに、やはり最後の頑張りというもの部活動の中であったと思いますので、その最後が一番良い形でスポーツ、あるいは文化活動ができるように繋げていきたいと思っています。

それから2点目、コーディネーターのところにつきましては、副課長から説明をさせていただきたいと思えます。

事務局（学校教育課副課長）：今回、コーディネーターに行っていただく内容につきましては、要綱の第5条で、コーディネーター等の職務内容を書かせていただいています。スポーツ・文化活動地域展開推進計画の策定に関することでもあります。とか、取り組みの連絡調整、地域クラブと中学生の連絡調整、クラブの指導助言、どういうクラブがあるかという情報提供に関するようなことを提供していた

だこうと考えております。スポーツに係るコーディネーターで、運動部の関係を調査していただいたり、現状を調べていただくコーディネーターと、芸術部を含めて文化活動などの地域クラブとしての発掘等をしていただくコーディネーター、お二人の方を今考えております。推進計画にも書いてあるのですが、今のところ令和8年の6月という話をさせていただいてますが、中学校で現在部活をしている生徒さん自身は、6月から始まります総合体育大会に出て、ずっと勝ち上がっていけば7月、8月とずっと続いていくんですが、その総合体育大会をもって引退される3年生としては、終わるという流れがありますので、そこで終わるといふことにしています。推進計画の中で、このコーディネーターが必要な令和5年から7年までが、地域展開の移行期間ということで書かせてもらっています。

その間にしていただくコーディネート部分と、実際に令和8年度以降の完全移行が済んだときのコーディネーターの仕事内容というのは、若干変わる可能性はあるのですが、現在令和8年の完全移行に関するところまでは、現在のスポーツ・文化活動について、それぞれ今ある部活動ですとか、文化の方ですとか吹奏楽しかないんですが、その他にこういった文化活動ができるのかという掘り起こしをこの令和6年度中に調査していただくように思っています。必要があればコーディネーターは増えていくのですが、今年度は運動部に関するコーディネーターと文化活動に対するコーディネーターのお二方をお願いしています。学校やその地域クラブ、申し込みをされた生徒さん、その保護者の方も含めて、連絡を取ったり調整をしたりする事務職員を置くように要綱の中で定めております。

教育長：現在のところ、3名にコーディネーターとして来ていただいて、スポーツや文化、それから事務をそれぞれしていただくということで進めているところです。コーディネーターの仕事については、大体のイメージはよろしいでしょうか。

それから部活については、今現在行っている部活については、地域展開してなくなるのではなく、地域の指導者の方に指導していただいて、そのまま続くこととなります。サッカー部なら、サッカー部という部活ではないのですが、サッカーの地域クラブという形で続けていくということとなります。

ただ、現在、指導している現職の教員の中にも、ぜひ地域の指導者として関わりたいという教員もありますので、その方については兼職兼業の届けをしていただいて、教育委員会が認めて、その方が地域指導者として引き続き地域クラブで指導していただくという形をとることとなります。

ですから、今ある部活は子どもたちが希望すると捉えていますので、できるだけその希望を叶えるということで、指導者もきちんとと確保して、地域クラブとして再出発すると捉えております。ブツッと切れてしまうということはないのです。それはあつてはならないと思っていますので、そのまま続けていく。ただ、学校の部活動で行うというのはなくなる形となります。よろしいでしょうか。

教育長：委員さん、どうぞ。

委員：流れとしては、そういった枠組みの中でしっかりと動いていてもらいたいとは思いますが、私が思うには部活動は優勝、準優勝、そういったことだけでやってるのではない。誰でもそうだと思うんですが、やはりまず生徒指導、生活指導、これを全面において、他の多種目の先生方にも集まってもらって、「この子どうだった」、「この子最近出てくるのが遅いな」、「最近ちょっと服装が乱れているな」、「クラスの中でも元気ないけどどうだった」と、部活動の顧問会でそういった生活指導、生徒指導の話をよくしました。ぜひこの時間は持ってほしいということで、先生方をお願いして、自分で計画を立てながら子どもの生活面、それから生徒指導面に重きを置いていただきたいと思います。「この子授業中に非常に落ち着きがないし元気がないのだけど、最近どうなんだろう。」というようなことが、教科の先生や担任の先生から話が出てくるんですよ。「部活動ではこうでね、こんないいところあったよね」とそういうやり取りがたくさん出てきてたんですね。それで良かったのですが、学校生活と、今度は地域の部活動が少し離れてしまうというか、そういう状態になることを覚悟して踏み切っていくと、地域移行の活動は、文化・スポーツの活動が独り歩きしてしまうということ、それから学校の先生方が子どもたちの動き、動作、考えがなかなか見えにくくなるということで、果たして支え合いができるのかというようなことが非常に懸念されるんです。失礼ですけど例えば、文化的スポーツ的な地域移行での活動の中で、友達同士のちょっとしたトラブルや友達同士で亀裂ができたときに、その問題をその地域移行の方々にサポートして、保護者も呼んできていただいて、問題解決方向でももらえるのか。その問題が起きたことを学校の方へ持ってきて話をさせていただくのは結構だと思います。「練習中にこんなことがあってね」とか、そういう話を持って来ていただければ十分いいと思うのですが、全て不登校に繋がるような問題、いじめに繋がるような問題を学校へ持ってきていただいても、中身が分からないので、普段から話ができているので、学校としてもまた重荷が出てくるのではないかなということ、私なりに、老婆心かも知れませんが心配をするんです。そういったところの繋がりを、できたらコーディネーターの方々が真ん中に入っていて、とりあえず部活動は1位2位、優勝、準優勝とかそういう結果を追うだけのものじゃない。やはり、思春期の子どもたちを預かって、思春期の子どもたちを支える意味での部活動を続けていたことを思い出しますが、できたらそれが切れてしまわないように、どんな方法でもいいので、そういった問題が起きたときに、きっちりとコーディネーターの方を中心に話ができるような方法を確認をしておいていただきたい。各習い事、スポーツ団体が独り歩きしていただきたい。例えば遠征のこと、お祝いの打ち上げのこと、忘年会などの行事のことを、ある団体はされるがこっちはしないというようなことは、

非常に子どもながらに敏感で、保護者に言うと思うんですね。そういうところから人不信が出てきますので、技術面、勝った、負けた、優勝とかじゃなく、そういう人間関係のところをしっかりと押さえてもらうような、地域移行の部活動、文化活動を目指してもらいたいということを勝手ながら思うんです。以上です。

教育長：ありがとうございます。学校教育課長、何かございますか。

事務局（学校教育課副課長）：私も地域移行の課題というのは、実際に中学生の子たちが地域のクラブへ行って初めて起こってくる問題もあるかとは思っています。ただ現状、小学校のような教師と児童との関わりに近づくなと思っています。やっぱり教師は授業で勝負して、保護者との連携を取って、そして放課後に気になる部分があったら声をかけて、最近どうやっていう時間を取る中学校の先生方が部活動を通じてされていた、その部活動の武器を取ってしまうわけですから、中学校の現場の先生方は、やはり授業で勝負してもらう先生方であり、子どもと家庭と連携を取りながら放課後の時間をスポーツ指導ではなくて、保護者との連携、子ども、生徒との時間ということで取っていただくということに変わっていくのではないかと思っています。また、どうしても小学校でも、スポーツ少年団などいろいろなところで活動している子どもたちは、そこでのトラブルを抱えて小学校にやってきます。なかなかそこでの様子が見えないので学校の現場の先生は苦勞しているところがあるのですが、何とかコーディネーターと密に連携を取れるような体制を考えながら、課題に対応していきたいと考えます。

教育長：よろしいですか。委員さんどうぞ。

委員：私もう一つ気になるというか、分からない部分があるのですが、安全の面で怪我や事故への対応として、何か保険に加入するとか、その辺の安心できる何かがあるのかなということも気になるのですが、いいでしょうか。

教育長：保険関係について、学校教育課お願いします。

事務局（学校教育課副課長）：保険関係ですが、スポーツ安全保険というものがあります。スポーツ安全保険というものに地域クラブの指導者の方に、子ども、指導者さんの分も入っていただく。これは前提条件として守っていただくということで、今年度、卓球とバスケットボールをさせていただいているのですが、既にその保険に入っているかどうかという確認も含めて、地域クラブと中学生と、「スポ・カルたか」という組織、その三者で組んで、いろいろなことを把握しながら、地域クラブの発掘をしていきます。中学生と地域クラブの活動調整も、お申し込み自体は「スポ・カルたか」の方にさせていただいて、それを地域クラブの

方に申し込みがありましたということで、流していきますので、今のコーディネーターも現場に行って活動を見ていただくなどしています。安全面の確認をコーディネーターにもしていただき、実際の怪我に対しては保険に入っていることで対応していきたいと思っています。

教育長：大事なことです。保険関係はきちんと全員入るように設けていきたいと思っています。他、何かよろしいですか。

委員：お金のことをちょっといいでしょうか。保護者がどれだけ部費として必要なのか、これは活動ですのでやはり費用が要ります。先生方の指導については、土日は兼業、そういった形のお金は支払いをされるということはあったのですが、保護者の方が、どれだけお金を出されるのか、町としてどれだけ部活動にお金を出されるのか。

それから遠征とか練習試合にはかなりお金が要りますので、そういうことについても、費用面を検討されるときがあればお願いしたいと思います。以上です。

教育長：学校教育課、よろしいですか。

事務局（学校教育課副課長）：貴重なご意見ありがとうございます。今年度、卓球、バスケットで実施をしております。今、参加費は月額3,000円ということで活動をしていただいています。そのお金について、モデル期間として1か月、5月中はまず無償でさせていただいて、6月から参加費用が要りますということで保護者の方に案内をしております。その3,000円については、地域クラブとして活動するのに必要な分として、今、提案をいただいている金額になります。

事務局としましては、今実際、部活動としてこういった費用が出ているのか調査中です。先ほど言われた遠征のバスの分が出ていたり、学校で町バスを使えば無料で行けるといいうのもあるのですが、どれぐらいの大会に参加をするのか、参加費などももちろん必要になってきますので、中学校で部活をするときに要る費用で個人から出る分、もちろんユニフォームなどは個人負担であったりとか、試合に行く分は保護者に送っていただいているという部活の現状もあります。今年1年をかけて、金額的な費用面を把握させていただきまします。調べている中ではサッカーや野球などは、今の実際の活動をされている地域クラブでどれだけ費用をいただいているのかというのを調べさせていただきながら進んでいるのですが、どうしてもクラブによって金額が変わってきますので、高額になりすぎないような方法ですとか、町が負担できる分、その他学校の方でお世話になれる部分があるのかどうかなど、そういったものを調整しながら保護者や子どもの負担が出来るだけ少ないような方法で検討していきたいと、今は進めているところです。

委員：ありがとうございます。費用の面でもう1つお願いします。地域の様子では、お金がなかなか出しにくいご家庭もあり、子どもの練習費を払うのに多くはなかなか出せないということです。これはおじいちゃんおばあちゃんの話でしたけどね。片親でなかなか働きも少ないので、子どものお金を払いにくいご家庭も出てくるので、そういったところで私が心配するのは格差です。お金がある家はできる、少し収入が少ない家の子どもはなかなか行きにくいというようなことだけないように、町の方からの補助をお願いしたいと思います。ここはそんな具体的なことを話す場ではないと思うのですが、またいろいろなことがこの委員会で出てくると思うので、これもお願いです。そういったご家庭がある、そういう声も聞こえるということですので。以上です。

教育長：ありがとうございます。資料の11ページをご覧になっていただきましたら、学校教育課長からも説明しましたが、検討課題とスケジュールというところがあり、その中の(1)検討課題の中に、費用負担の軽減策の検討と必要な財源の確保ということも、しっかりと認識して挙げております。経済格差によって所属するクラブに行けないということのないように、やはりそこは行政として考えていけないといけないと課題意識を持っております。これも検討していくという計画をここに挙げさせていただいていますので、それも含めて了解していただけたらと思います。

大事なことにつきましては、教育委員会の場でお話しをしまいたいと思いますし、また細かいことは検討会議を設けていますので、課題解決をその場で共通理解を図りながらやっていきたいと思っております。そういう方向で進めるということのこの推進計画でございます。

大筋ご了承していただけるということで、これで良いですかと聞く前に、今日欠席されています委員さんからもこのことについてのご意見を頂戴しておりますので、ご紹介をさせていただきます。「9ページの基本目標のところを見させていただいたら、町民全体にとって地域で多様なスポーツや文化芸術に親しみ、世代を超えて絆を深め豊かな人生を送るということで、対象が中学生に特化するのではなく町民全体を意識した基本目標になっていますね」ということを書いていらっしゃる、「後半になればなるほど中学生の部活動の地域移行という観点での文言が多いので、前半と後半とちょっと考え方が違うのではないですか。」というご指摘を受けております。今進めている中学生のスポーツ文化活動の地域移行につきましては、これを行うことによって中学生にとってもプラスだし、町民全体、各世代の方々にとってもプラスになるような改革にしたいという思いで、最初の基本目標にその部分があります。本当はそこまで目指しているのですが、実際そこまで達成しようと思ったらなかなか大変なことです。もう少し足元を見て、中学生よりのことに揃えた方がいいんじゃないかという意見、その辺りの齟齬があるのではないかという指摘がございました。それをご紹介させていただきます。

きます。

この場でお諮りしますが、そのことについてはどうでしょうか。町民全体を通してスポーツ・文化活動に、よりに親しんでもらって、世代を超えて絆を深めて豊かな人生が送れるような改革にしていくというのを目標にするのか、やはり中学生がスポーツ・文化芸術に親しんで中学校生活を送れるように、また生涯に繋がるようなスポーツ・文化に触れられるように行うという視点が大事なのか、そこについては皆さんはいかがでしょうか。もっと絞った方がいいと思われませんか、それとも大きい視点でした方がいいと思われませんか、いかがですか。

委員：大きな課題だと思うので、地域なら地域でスポーツ21ということで、今まで地域の方々、大人の方々の動きで進めていた。そこへまた中学生の若いエネルギーな活動が入ってくると、これを一緒にするという事はなかなか難しい。言葉ではいろんなことが言えると思うのですが、実際に動くとなったら大変難しいと思うんです。年配の方の動きとか言葉とか考えを、中学生が聞き、中学生の動きとかやる気を大人たちが見せてもらう、そういった相互作用の中ではいいことができると思うのですが、実際にそれがまとまってできるかどうかとなると、非常に難しいなと感じました。私も時々私的なことで阪神間の方へ行かせてもらって、阪神間はどのような動きなのかということを見るんですが、やはり分けてされていることが多いですね。でも向こうは大学生はいるし、実業団の社員も、国体選手いて、そういった方々が出てきて指導されていますので、かなり技術面、レベル的にはいいものを持っていると思います。都会と中間部の三木あたり、それから山間の多可町あたりの場所、地域によって、環境が違います。非常に負担がかかって難しいなということは感じますが、目標課題として挙げることはそのとおりだと思います。その中で子どもたちを育てていくということですので、いいと思います。

教育長：ほか、委員さんいかがですか。

委員：多可町中学生のスポーツ・文化活動地域展開ということで、中学生に絞ってされた方がいいんじゃないのかなと私は思います。

教育長：ありがとうございます。ほかの委員さん、いかがでしょうか。

委員：私も、この1ページの項目を見ておりましたら、「多可町中学校の」というふうに中学生が頭に出ていて、ここの基本目標では、もちろん期待される効果ではあるんですが、そこでもうちょっと中学生が大きく出てきて、あと地域が少し出てきているという感じの方がいいのかなとは思ったりもします。

教育長：ありがとうございます。貴重な意見を数々いただきました。出た意見をまとめまして、私の方で少しまた修正なり加筆をして、また送らせていただいて、最終的にまとめていくという形でどうでしょうか。とにかく国の方も推進計画を作るように言うておりました、それぞれ自治体によって計画は違います。当然地域の実態が違います。ですから出来てくる計画は違ったものになって当たり前だと思いますし、また（４）推進計画の見直しというところでも、「この計画は国や兵庫県の指針が改定された場合など、必要に応じて見直しを行います」という文言も入れておりました、進める中で見直しはどんどんしていきたいと思っております。教育長の方に一任していただいて、細かいところは検討して、また決めていくということによろしいでしょうか。

委員：はい。

教育長：それでは、本当に慎重審議していただきましてありがとうございます。この計画の策定については、一部手直しもありということで、承認するということがよろしいでしょうか。

委員：はい。

教育長：それでは一部手直しをしながら、概ね提案どおり可決ということにしたいと思います。

続きまして、承認第5号 多可町教育委員会後援名義申請の承認について（令和6年4月分）を議題とします。事務局の説明を求めます。

承認第5号 多可町教育委員会後援名義申請の承認について（令和6年4月分）

事務局：（教育担当理事兼教育総務課長） 資料の11ページをご覧いただきたいと思っております。承認したものを一覧にまとめております。今回は7件です。まず1番目につきましては、7月28日に開催予定の青少年のための科学の祭典2024丹波会場大会です。小学校から大学までの幅広い年代の青少年に、自然科学の面白さや楽しさを実際に体験し発見して喜びを知ってもらうということで開催されます。

2番目は、今月5月1日から31日の間、加西市で実施されています火祭アートフェスティバルというものです。文化芸術の振興を目的として開催されております。明後日、5月26日日曜日には、加西市の日吉神社で播州歌舞伎のワークショップブースを設けるということで隈取の塗り絵などを行うと聞いております。

3番目は、株式会社神戸新聞社事業局から申請があった、ポップサーカス神戸公演で、福祉施設への無料招待や社会福祉事業にも寄与されているということ

での後援依頼です。

4番目から6番目は多可町文化連盟の自主事業で、自主事業部会の申請でございます。4番目は弦楽器ということで二胡という中国の楽器とのピアノコンサート、5月25日、明日開催予定です。

それから5番目は、6月7日開催のピアノコンサートで、2台のピアノと9人のピアニストによるスペシャルコンサートと聞いております。

6番目は、住民企画の自主公演事業で7月14日土曜日に開催されます、あつたか親子のドリームパーティーということで、これは、おかあさんといっしょの歌のお姉さん第21代を務められた小野あつこさんの出演ということを知っております。

最後の7番目でございます。多可町ソフトボール協会の申請で、5月3日にガルテン八千代グラウンドで開催されました、第10回の北播中学女子ソフトボール大会です。8チームの参加で多可町からは中町中学校と八千代中学校のチームの参加となっております。以上7件でございます。ご確認いただいて承認をよろしくお願いいたします。

教育長；ただいまの説明につきまして、質疑等ございませんか。よろしいですか。

委員：はい。

教育長：質疑等ないようですので、採決に入りたいと思います。承認第5号 多可町教育委員会後援名義申請の承認について（令和6年4月分）は、承認することでご異議ございませんか。

委員：はい。

教育長：ありがとうございます。それでは、承認第5号 多可町教育委員会後援名義申請の承認について（令和6年4月分）は異議がないものと認め、提案どおり可決いたします。

続きまして、日程第4 報告事項に入りたいと思います。

日程第4 報告事項

(1)各種委員会の報告

教育長：まず（1）各種委員会の報告についてですが、委員さん方で出席された会議の報告がありましたらよろしく申し上げます。

委員：5月7日に「トライやる・ウィーク」推進協議会がありました。今年度は6

月3日（月）から6月7日（金）の5日間で町内55の事業所で開催されます。
6月4日の火曜日から6月6日木曜日の間に見学会が行われますので、また参加の方よろしくお願ひします。以上です。

教育長：ありがとうございます。ただいまの報告について、質疑等ございますか。

私の方から追加をさせていただきます。実はトライやる・ウィークの今年を受け入れ先は55事業所だったのですが、1事業所が辞退を申し出されております。ですので54事業所になります。そこに申し込みをしていた生徒が2名おりましたが、同じような販売系に変更をしていますので、付け加えをさせていただきます。

それでは、他に質疑等ないようでしたら、次に各種委員会の報告を終了しまして、報告事項（2）教育委員会事務局の報告に入ります。まず教育総務課、報告をよろしくお願ひします。

（2）教育委員会事務局の報告

【教育総務課】

事務局（教育担当理事兼教育総務課長）：教育総務課からは合計4点ご説明をさせていただきます。まず1番目、就学援助事業で、現在4月受付で児童扶養手当を受給されている世帯等対象としており、74名の方が認定となっております。またこの後、5月29日から6月11日まで、令和5年中の所得の確定に伴う所得要件等による申請受け付けがございました。引き続き申請漏れのないように周知を図ってまいります。

2番目は、小学校等入学あったか祝金です。これは令和5年度から始まって今年で2年目になるのですが、小学校等へ入学される保護者の方へ、小学校入学時に5万円を贈るもので、今年度89名の方が認定をされております。ちなみに昨年度は133名ですので、人数的には1年間でかなり減っているというような認定状況となっております。

3番目行事予定で、まず最初に6月6日に第8回統合中学校開校準備委員会を開催します。令和6年度、新たにPTA部会を立ち上げ、さらに調整を進めてまいります。それから、新しい体操服デザイン選定のための巡回展示についての資料があります。統合中学校の体操服の関係ですが、新しい体操服のデザインの選定に際して子どもたちや保護者、教職員の声をできる限り反映させるということで、アンケートを実施します。対象者としては小学校の児童4年生以上、そして小学校の保護者、中学校の生徒と中学校の教職員ということで、5月20日から29日までの間に、学校を回って1日ずつ展示をして見ていただいで投票いただくという形です。またこの土日は、多可高校の近くにある那珂ふれあい館で展示を行うことで、保護者の方にも土日見ていただければということで、予定表を

提出しております。

既に、投票に係る説明のチラシを作成して、保護者の方への配布をして周知を図っております。アンケート結果も含めて参考にさせていただきながら、今後は、教育・事務部会で調整いただき、準備委員会での承認を予定しています。

続いて、行事予定表の2番目です。教育委員さんの研修等で、前回お話ししました8月22日から23日の全県夏季教育委員会研修会のお知らせと、それから事前にメールでお知らせをしています、令和6年度の播磨東地区教育委員会連合会理事会総会および研修会が、令和6年7月24日（水）、明石市立勤労福祉会館で開催となっておりますので、お知らせをいたします。

行事予定3番目、現在学校訪問を続けております。昨日の松井小学校で、5校実施をしております。委員の皆様には本当にお忙しい中ご訪問いただき、ありがとうございます。来週の1週間で3校、合計8校の訪問ということで、予定表のとおり今月5月31日で8校を訪問いたします。

4番目、多可町図書館事業ですが、今月5月31日に第1回の多可町図書館協議会を開催します。また、本日チラシをお配りしております図書館まつりですが、6月8日ということで、昨年より少しずらして開催します。いろいろなメニューがあるのですが、土日の2日間も中学生のトライやる・ウィークが続きますので、ミニ緑日の方でお手伝いをしていただきます。多可高校生のボランティアも一緒にやってくると聞いております。そういう形で各関係機関連携しながら、図書館まつりで図書館の良さを知っていただけるよう、また、利用者、ボランティア、職員との交流の機会となるよう、開催をさせていただきます。

そして行事予定表の最後は那珂ふれあい館事業です。令和4年度から取り組んでいる文化財保存活用地域計画の第9回目となる協議会を、来月5月27日（月）曜日に開催します。今年度でこの計画の素案を作るスケジュールで進めているところがございます。今年度素案を作って、令和7年度に国の文化庁に提出して承認を得るといった形の手続きをしていきます。

それから図書館と那珂ふれあい館のイベントにつきましては、来月1か月分のお知らせをつけておりますので、ご覧いただければと思います。

そして最後に、4月の定例教育委員会の要旨録を付けさせていただいております。何か訂正等ございましたら事務局までよろしく願いいたします。以上で教育総務課の報告とさせていただきます。

教育長：ただ今の教育総務課の報告につきまして、何かご意見質疑等はありませんでしょうか。もしありましたらお願いします。ないようですので、これで教育総務課からの報告を終了し、次に学校教育課の報告に移りたいと思います。それでは学校教育課、報告をよろしく願いします。

【学校教育課】

事務局（学校教育課長）：6月の行事予定で、5月28日火曜日から全小・中学校で目標管理ヒアリングを実施します。校長先生に書いていただく1年間の目標を書き表すシートを資料につけています。

それから2点目は、わくわくオーケストラ、こちらは県が進めています体験学習の一つです。中学1年生が行きますが、5月31日と6月4日にそれぞれ3中学校が行きます。資料に実施要項をつけております。

それから3点目です。トライやる・ウィークで6月3日から5日間、校外での社会体験事業を行います。事業所につきましては、今年は2年後の統合中学校を見据えているということもありまして、3中学校の子が行く事業所、あるいは2つの中学校から行く事業所というところも少しずつ増えてきております。昨年度のトライやる・ウィークのアンケート結果を載せております。中学生の生徒が社会との繋がりを持ち、その中で自己有用感や職業に対するイメージ、あるいは将来の夢を持つといったところが、アンケートの結果では、まだまだ低い数値です。これからさらに積み上げていかなければいけないところですが、この少ない数字が上がっていきますように、そしてキャリア教育へ繋がっていきますように、このトライやる・ウィークを実施していきたいと思っております。

それから文化連盟の自主活動にもありましたが、同じ日、6月7日に小学校4年生の子たちがピアノコンサートを聞くということで、多可町独自の取り組みをしております。それから次が自然学校になりますが、これは7月8日から12日まで5つの小学校が連合で行きます。

次に、プール水泳については今いろいろとニュースにもなっておりますので、多可町の実態をお伝えします。自分の学校のプールを利用している学校は、八千代小学校と杉原谷小学校の2校になります。その他は町のプールを利用しております、中区のプールを中町中学校、加美区の温水プールは5月から9月にかけて4つの小・中学校で、それからB&G八千代プールにつきましては八千代中学校が利用ということで、公共のプールを利用している学校が増えております。

それから、中学校の郡総体を6月22日（土）、23日（日）に予定しておりますが、今その大会要項等を作成中ということですので、日程や時間、場所が分かりましたら、またお知らせいたします。それから、先ほどからご協議いただきました地域クラブの展開ですが、今、仮入部を経て6月1日から本格実施をしていくということで、卓球で5人、バスケットボールで3人がそれぞれ活動しております。バスケットボールにつきましては、3人のうち2人は中学2年生です。学校の部活に入っている学年ではあるのですが、バスケットボールという種目が部活にはないということで2人入っている状況です。報告は以上になります。

教育長：ただ今の学校教育課の報告につきまして何かご意見ご質疑等ございませんでしょうか。何か質問とかご意見ありますか。

委員：地域クラブ展開の卓球部とバスケットボール部の子たちは、部活動はどこか違う場所でされているのか、そこに移動はされているのか、どう移動されているのかをお聞きしたいです。

教育長：ありがとうございます。それでは学校教育課長、お願いします。

事務局（学校教育課長）：まず、卓球につきましては、中区天田の吉田卓球場さんが活動会場になりまして、そこまで子どもたちは移動して行って活動していることになります。中町中の子たちなので自転車で移動出来ています。

それからバスケットボールにつきましては、中町中学校の体育館が活動場所になります。指導者の方が放課後始まってすぐには来れないので30分ほど時間が空いた後にはなりますが、その後、中町中学校の体育館の方で活動しているところ、中学校の最終下校の時刻よりも少し遅くまで活動されています。

教育長：ちなみに、バスケットボールについても卓球についても、お二人ともきちんとライセンスをお持ちの指導者の方ですので、指導については間違いのないということになります。

委員：きちんとご指導いただけるのでありがたいですね。

教育長：他、何かありますか。それではないようでしたら次に行かしてもらってよろしいですか。それではこども未来課、報告をよろしくお願いします。

【こども未来課】

事務局（少子化対策担当理事兼こども未来課長）：こども未来課は報告が3点ございます。

報告1、多可町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、こちらは6月の議会に改正条例の議案を上程する予定です。詳細の説明につきましては、令和6年3月13日に児童福祉施設の設備及び運営に関する基準および家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準の一部改正をする内閣府令が出ております。この改正で4月1日より施行されております。この内閣府令に基づく今回の改正では、国が言っております少子化異次元対策の実現に向けて策定をされております、こども未来戦略において取り組むべき政策の一つといたしまして、職員の配置基準についての改正等が行われたことにより、今回報告をさせていただきます。多可町の家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例に一部改正が必要となりまして、条例改正を行っていくものでございます。新旧対照表では、左側が現行欄で右側が改正案で、第29条第2項第3号中に、「おおむね20人につき1人」とあるところを、「おおむね15人につき1人」に改めます。それから同行の第4号中に

「おおむね30人につき1人」とあるところを「おおむね25人につき1人」に改めるという改正となっております。それと同様な形で第31条、第44条、第47条のところにそれぞれ職員の定数、最低基準というものを定めてある条例ですが、その部分がそれぞれ3歳以上4歳未満に満たない児童は「おおむね20人に1人」というところを「おおむね15人に1人」に改める。それから満4歳以上の児童は、「おおむね30人」とあるところを「おおむね25人に1人」に改めるとなっております。本条例の改正につきましては、公布の日から施行をいたします。内閣府令の改正におきまして、今回の家庭的保育事業等の改正の府令の部分ですが、そこについては既存の小規模保育事業所ということが該当するかと思います。こちらは4月1日が基準で改正されますので、3月末より前からずっと運営をしている小規模保育事業所等の部分の運営に支障を及ぼす恐れがあるときにつきましては、当分の間は改正前の基準、いわゆる改正前の基準が30対1ですとか、20対1という部分を基準にして運営をすることを妨げない、という経過措置が、今回設けられております。この部分が来年の3月末までというイメージで、経過措置が設けられている状況となっております。なお、多可町のこの今回の条例改正に関わります小規模保育事業所につきましては、八千代区にあります「ちびっこランドらくえん」が該当しますが、ただ、職員の部分で第29条の第2号の(1)と(2)、ここの部分については、今回の改正の該当にはなっておりません。すなわち4月1日以前も4月1日以後も変わっていないという状況になります。ちびっこランドらくえんは、預かっている部分が乳児から3歳未満という、いわゆる0から2歳児というところを対象としている小規模の保育事業所でございますので、今回の条例の改正には直接影響を受けないという実情がございます。制度改正の説明については以上です。

続きまして2番目、子育てふれあいセンターの愛称募集の進捗状況ということで、報告をさせていただきます。令和7年春にリニューアルオープンをする子育てふれあいセンターの愛称募集につきましては、52点の作品の応募をいただきました。応募作品の中から、子育てふれあいセンターの運営目標であります、「地域とつながりながら、みんなで子育てに向き合い、みんなの想いが輝く居場所」にふさわしく、利用する子どもたちが覚えやすく呼びやすい、そういう愛称を、6点、事務局の方で1次選考しております。この6作品の愛称名と愛称に込めた思いというのがその下の表のところとなっております。「ココミル」、「ココイナ」、「にこあす」、「たからっこ」、「あそぶん」、「cocowa」、この6点となっております。今後、5月10日から6月10日までの期間に子育てふれあいセンターにおきまして、この候補作品の中から優秀な作品と思うものを投票してもらいまして、その結果を参考にしながら6月20日に予定をしている児童館・子育てふれあいセンター運営委員会におきまして、最終決定をしていく予定となっております。愛称の決定後、愛称にマッチしたマークとか、イメージキャラクター、イメージキャラクターの作成を検討していきたいと考えております。報告2の

説明は以上となります。

それから、こども未来課の行事予定です。本日19時から、播州歌舞伎クラブの開講式を行います。それから1週間後の来週31日金曜日、こちらがカブキッズたかの開講式となっております。この関係で6月2日には、嬉野台に野外活動リーダー研修発表に行ってみます。

それから、ホリデイチャレンジとして6月15日には「宇宙を学ぼう、国際宇宙ステーションとアマチュア無線」を予定しております。

それから、春季園訪問は、教育委員さんにお世話になります。日程は6月19日から最終6月28日という予定をさせていただいております。お手元に訪問にかかります資料がございます。教育委員会の春季訪問日程で、それぞれの日程のところへ行っていただく委員さんのお名前を書かせていただいております。後ろのページ以降は、それぞれの園訪問の際の次第となっております、合わせてその部分を提供させていただいております。お忙しいですが、よろしく申し上げます。

それから、児童館・子育てふれあいセンター運営委員会を6月20日19時30分から、子育てふれあいセンターで行います。

また、第6回多可町認定こども園の保育フェアを6月23日にベルディーホールで開催いたします。

それから最後、定例園長会を6月25日に役場の特別会議室で開催する予定です。

それから、第2回ファミリーフェスタについて少しだけ詳細に説明させていただきたいと思っております。工事の関係で、例年の中央公園の木のところあたりと子育てふれあいセンターの園庭等を利用して、第2回ファミリーフェスタを開催させていただきました。昼までだったので天候もギリギリ持って、去年よりも少し多いような状況でした。一般参加者は全部で212名来ていただきまして、盛り上がったかなと思っております。それから、中学生ボランティアも合計14名参加していただきましたし、西脇北高校のボランティアの2名と引率の先生、大学生のボランティア1名、それから民生委員の主任児童委員さんにも3名参加していただいております。いずみ会からは9名の参加をいただいております。多くの方に支えられて第2回ファミリーフェスタが成功裏に終わったかなと思っております。本当にありがとうございました。こども未来課からの報告は以上となります。

教育長：ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見等ございますか。

委員：園訪問は現地へ直接行くということによろしいですか。

教育長：こども未来課長、お願いします。

事務局（少子化対策担当理事兼こども未来課長）：はい、例年、各委員さんとその現場のところで待ち合わせになっていたかと思います。よろしく願いいたします。

教育長：それでは、ただ今のこども未来課からの報告につきまして、ほかにご意見、ご質疑等ございませんでしょうか。ないようですので、これでこども未来課からの報告を終了し、次に生涯学習課の報告に移りたいと思います。生涯学習課からの報告をお願いをいたします。

【生涯学習課】

事務局（生涯学習副課長）：生涯学習課から報告させていただきます。日程順に申し上げます。ふるさと創造大学開講式を、6月1日（土）午前10時からベルディーホール会議室にて開催いたします。続いて、ふるさと創造大学第1回講座が6月27日木曜日午前9時からあり、内容は第1回講座は例年「多可町探訪」と題しまして、町内の企業や事業所さんや施設を見学させていただいています。今年度は、障害者の方を積極的に雇用されているNPO法人カンビオさん、そちらの鹿肉を使ったペットフードの製造所を見学させていただくのと、代表者の後藤さんから30分ほどお話を伺う予定にしております。その後、青雲の家に行き交流会と昼食、その後杉原紙研究所に移動しまして、見学と紙すき体験をする予定です。

続いて、生涯大学「多可学園」一般教養講座としまして、6月28日（金）午前10時15分から、ベルディーホール会議室で、最近のニュースからということで、神戸新聞社報道部の岸本達也さんよりお話を伺います。予定は以上です。

今年度の多可学園の申込状況です。5月7日現在で193名、平均年齢が76.8歳ということで集計しています。その横に、参考に令和5年度の数と平均年齢を書かせていただいています。申込人数につきましては18名増加ということで、平均年齢はほぼ同じです。

続いて生涯学習講座ですが、申込状況は、同じく5月7日現在で170名、平均年齢が70.4歳、その横に昨年度の平均人数と平均年齢を書いておりますが、人数は減っています。25名減なんですけど、これは昨年ありました人気の高かった講座が1つ、講師さんのご都合でなくなりまして、その影響を受けております。

最後に生涯学習まちづくりプラザ関連としまして、現在の進捗ですけれども、見ていただいた方もあるかも知れませんが、アスパル側から見ていただきますと、屋根の形ができたかなというところでして、現在の進捗は全体工事の24%ということで、予定よりマイナス2.5%です。こちらは雨天による遅れが少しあったということで、今月末にはほぼ回復する見込みということで聞いております。以上です。

教育長：それでは、ただいまの生涯学習課の報告につきまして、何かご質問ご意見

等ございませんでしょうか。

委員：はい。

教育長：それではこれで生涯学習課からの報告を終了いたします。

(3) 次回教育委員会について

教育長：次に報告事項(3) 次回教育委員会の開催日について調整をお願いします。

(とき：令和6年6月26日(水) 午後1:00～ で承認される)

教育長：次回、総合教育会議が教育委員会の後行われるということで、また詳しい日程は事務局からご案内を差し上げます。

(4) その他

教育長：次に、その他ですが、事務局を含めて何かございますでしょうか。

ないようですので、本日予定をしておりました定例委員会の議事日程がすべて終了いたしました。これで、委員会を閉じたいと思います。皆様、ご協議ありがとうございました。

【閉 会】

教育長 午後3時43分 閉会宣言

令和6年5月24日

印

印